

授業改善推進プラン

【 1年 】

令和6年度 小平市立小平第四小学校

	学習状況の実態及び課題	具体的な改善策(いつまでに、どの程度)	追加・修正
国語	- 言葉に関心をもち、音読や言葉集めに意欲的に取り組む児童が多い。 - ひらがなの読み書きは、概ね定着してきているが、長音、拗音、促音、撥音の表記や助詞を正確に書くことには、課題が見られる。 - 身近なことを簡単な文で書き表すことはできてきたが、思い等を入れて表現することに課題がある。	- 言葉集めだけでなく、観察カードや日記を書く活動を通して、自分の行動だけでなく、思いも表現できる力を高められるようにする。 - 長音、拗音、促音、撥音の表記や助詞を正確に書けるように、視写を取り入れながら、書く活動を増やしていく。 ◎ペアや少人数グループで自分の考えや思いを伝えさせる活動を取り入れたり、身に付けた知識や技能をつかって考えを表現できる学習活動を展開したりする。	
算数	1けたのたし算ひき算の計算に意欲的に取り組む児童が多い。 - 文章から課題の場面を正確に理解し、立式することができない児童がいる。 - 集合数と順序数について正確に理解していない児童がいる。 10より小さい数の合成・分解がまだ定着していない。	◎具体物、半具体物を用いたり、問題場面を絵図で表したりする活動を通して、問題場面のイメージをもたせる。 ・学習した内容を確実に習得するために、定期的に反復練習(東京ベシックドリルも用いる)を行う。 ・補習日に学習者用端末などを利用して、1桁のたし算ひき算の計算練習や時計の読み方に取り組み、基本的な学習内容の定着を図る。	
生活	- 身近な人々や自然と関わることを楽しむ児童が多い。 - 栽培活動などを通し、生き物を大切に作る姿が見られる。 - 学習したことを絵や簡単な文章で表すことのできる児童が多い。	◎身近な自然や人と関わる体験的な活動を多く取り入れ、みんながよりよい生活ができるようにするにはどうしたらいいかを考えられるようにする。 ・地域の特性や人材を生かし、身近な自然や人のよさを十分に味わうことができるようにする。 ・児童それぞれの思いや願いを大切に、その思いや願いを伝え合う活動を通して、すすんで自然、人、物に関われるようにする。	
音楽	- 多くの児童が音楽や歌に合わせて、楽しく体を動かしている。 - 拍に合わせて動いたり、手を打ったりする身体表現がぎこちない児童もいる。 - 鍵盤ハーモニカの学習は、吹くときの息の強さやタンギングを意識させながら進めているが、運指については個人差がある。	◎音や拍を感じて体を動かす楽しさや、音楽を聴いてよさや面白さを味わうことができるようにする。 ・常時活動を通して、身体表現や歌い方など継続的に身に付けさせる。 ・鍵盤ハーモニカの指導は、指使いを確認したり指のみを動かしたりする時間もとり、基礎の定着を図る。 ・音楽やリズムに合わせて体を動かすなどの身体表現を取り入れ、様々なリズムやテンポの楽曲に親しませることで、表現の楽しさを味わえるようにする。	
図工	- ハサミや描画材の基本的な扱いは身に付いており、工夫して表すこともできる。 - 自分の考えを述べたり、友達のよさや違いを見つけたりすることが苦手である。 - どの活動にも意欲的に取り組んでいる。	◎活動を通して考えたことを友達と共有する時間を大事にしていく。 ・児童の興味関心を大切に、表現することの楽しさを感じられる題材を設定する。 ・題材によって材料の厚みや種類などを変え、その違いや扱いを感じられるようにする。	
体育	- 体を動かすことが好きな児童が多く、学習に意欲的である。 - 経験の少ない運動も、体の動かし方が分かるとできるようになり、器用な児童が多い。 - 決まりを守って運動することが難しい児童がいる。 - まだ自分で工夫して練習に取り組める児童は少ない。	◎自分のめあてを選ぶことや、振り返りをする中で、自分ができるようになったことと課題を見付けさせる。 ・短く具体的な指示を与え、スモールステップで技能の習得が図れるようにする。 ・全身運動を思い切り行う時間を確保し、決まりを守って仲良く運動ができるようにする。 ・工夫して練習等に取り組めるよう、よい動きや練習方法を取り上げ、見合ったりする時間を設ける。	
特活	- 基本的な生活習慣を身に付け、友達と仲よくできる児童が多い。 - 自分の思いを伝えることはできるが、友達の意見を聞き入れたり、周りに合わせて行動する力に課題が見られる。 - 当番活動にすすんで取り組める児童が多い。	◎よりよい生活を築くために、話し合いなどの対話を大切にする。 ・見通しをもって取り組めるよう、掲示物を分かりやすくしたり声かけを工夫したりする。 ・話し合いの場を多く設け、年度末までに友達の意見を聞くことができるようにする。 ・当番での活動やよい行動が称賛される場を設けることで、さらに意欲的に取り組めるようにする。	
道徳	- 教材等を元に、自分の考えを発表できる児童が多い。 - 登場人物の心情を考え、価値項目を理解できる児童が多い。 - 自分のこととして捉え考えることが難しい児童もいる。	◎B主として人との関わりに関することを重点に指導する。問題場面を役割演技等で再現することを通して、自分事として捉えられるようにする。 ・具体的な場面を例示し、自分ならどう行動するかを考える場面を設定する。 ・相手の気持ちを考え、よいと思うことをすすんで行う態度を認めていく。	